

## 大原野ひまわり畑

9月中旬頃、カナリーイエローや燃えるようなオレンジや濃い赤の数千本のひまわりが、大原野ひまわり畑を埋め尽くします。京都周辺のひまわりの多くは7～8月に咲くため、秋の涼しさが本格化する前に大原野に行くと、もう一度、大輪のひまわりの花を楽しむことができます。また、ひまわりのそれぞれの色を利用して、毎年新しいひまわり畑のデザインが生み出されています。

## コミュニティプロジェクト

大原野ひまわり畑は、大原野の農家によるプロジェクトです。7月下旬、農家や近隣の洛西高校の学生や教師、そしてその他のボランティアが集まり、数万本の苗を植えます。その後数週間にわたって定期的に苗の手入れが行われます。花が咲き始め、その空間が暖かい色で満たされるまで、畑全体は緑のままです。大原野の住人や訪れる人は、どんなデザインが生まれるのかを楽しみにしています。

## ひまわりを楽しむ

ひまわり畑の中を散策したり、写真を撮ったり、遠くの山々の景色を楽しんだり、近隣及び遠方からも沢山の人が訪れます。開花期間中は畑の中に高さ3メートルの見晴らし台が設置され、その年のデザイン全体を一望することができます。ひまわりに近づいて、または少し離れたところから鑑賞できる大原野の畑は、自然を撮影することはもちろん、友人や家族との記念撮影場所としても人気のスポットです。